

トラック輸送情報（平成19年12月分）

平成20年3月19日

国土交通省 総合政策局 情報管理部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：平野、佐藤 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

1. 特別積合せ貨物

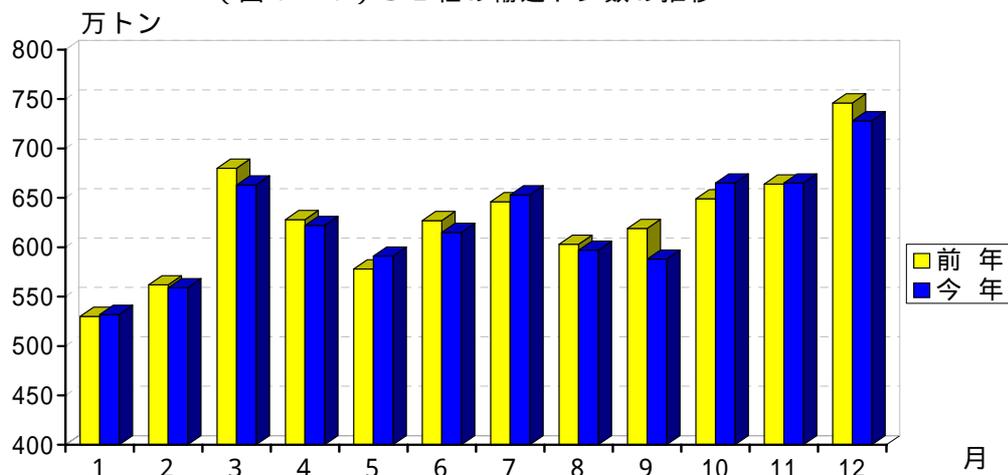
(1) 本月の概況

調査対象32社の本月の輸送量は、7,283,699トンで、前月と比べ総輸送量が約63万トン増加したため、前月比109.5%（季節調整済み100.2%）となり、前年同月との比較では、約18万トン減少したため、前年同月比97.6%の実績であった。

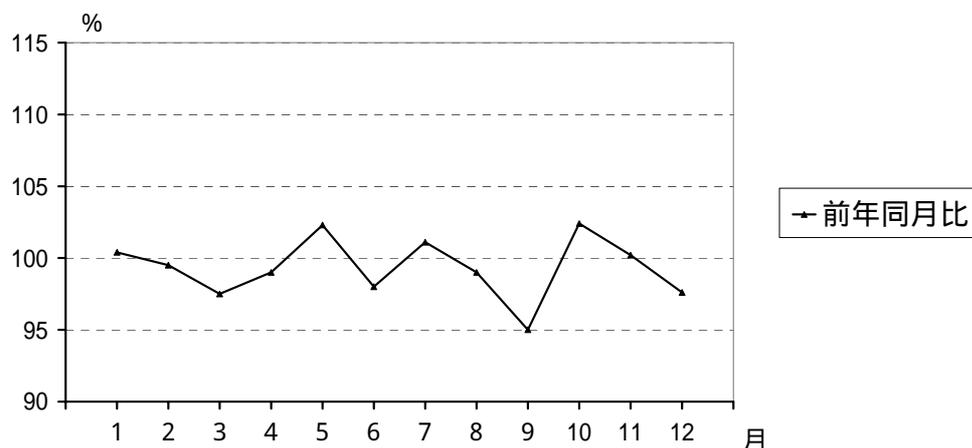
なお、平均稼働日数は23.1日で、前月及び前年同月と比べ、ともに0.5日の減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、315,312トンで、前月と比べ約3万トン増加したため、前月比111.9%となり、前年同月との比較では、約8百トン減少したため、前年同月比99.8%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

（図1-1）32社の輸送トン数の推移



（図1-2）32社の輸送トン数の前年同月比

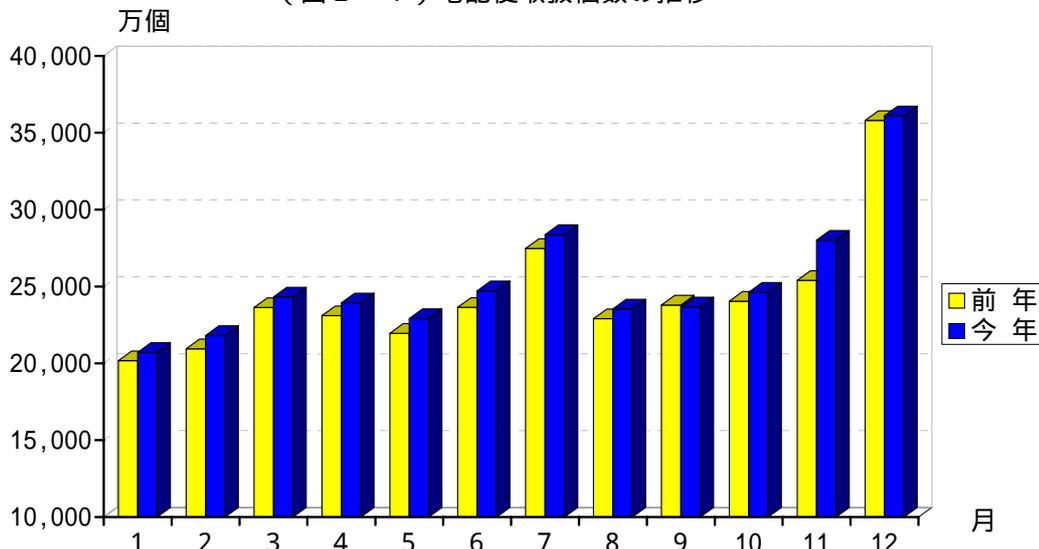


(2) 宅配便の概況

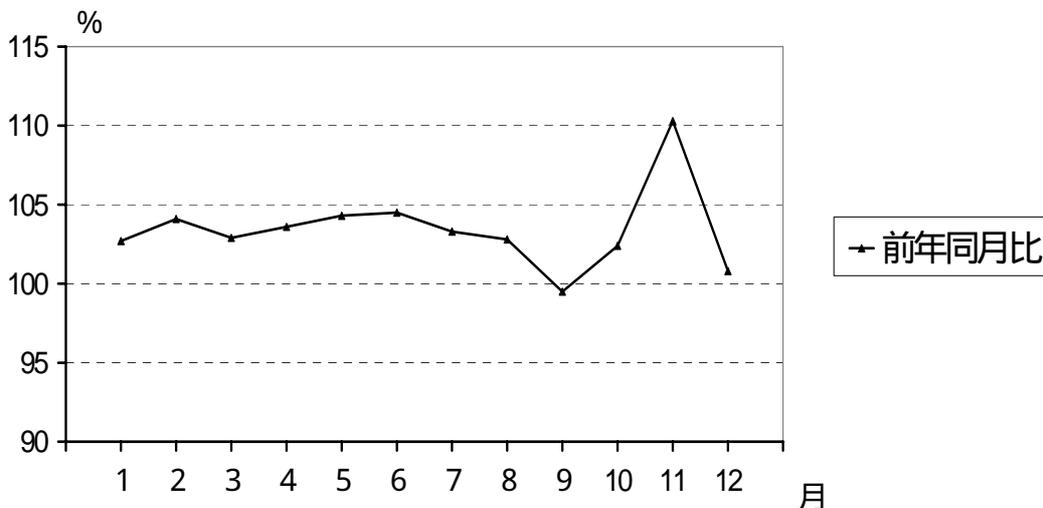
調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、361,038 千個で、前月と比べ 約 8,094 万個増加したため、前月比 128.9% (季節調整済み 92.0%) となり、前年同月との比較では、約 303 万個増加したため、前年同月比 100.8% の実績であった。

(図 2 - 1、図 2 - 2 参照)

(図 2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、お歳暮時期の到来による「その他 (宅配便・百貨店配送品)」の貨物増の影響等により、全体としては貨物量が増加した。しかしながら、工場・生産地からの貨物減、倉庫から出る貨物減により、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」等、貨物量の減少が目立つ品目もみられる。地域的には、「その他 (宅配便・百貨店配送品)」が神奈川、関東を中心に全国的に増加した一方で、「金属製品」が東京を除く 5 大府県で、「機械」が東北、東京、関東、愛知、近畿で、「化学工業品」が東北、東京、大阪、中国でそれぞれ減少した。

前年同月と比べると、「その他 (宅配便)」には増加がみられたものの、その他の品目で貨物量が減少となった。品目別では、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「食料工業品」、「日用品」で工場・生産地からの貨物減及び倉庫から出る貨物減等を要因とする減少回答がみられ、地域的には、東京、大阪、福岡等の大都市圏を中心に、東北、北陸信越、中国等において減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 32社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因	
	著増	増	変らず	減	著減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	1	15					
	金属製品			19	7	1	建築用金属製品、その他の金属製品	神奈川、北陸信越、愛知、大阪、兵庫、福岡	4
	機 械			20	6	1	その他の機械、機械部品	東北、東京、関東、愛知、近畿	4, 7
	化学工業品		1	21	8		合成樹脂、その他の化学工業品	東北、東京、大阪、中国	4, 7
	繊維工業品		1	23	5		織物	東北	4
	食料工業品	1	4	16	6		飲料	神奈川、福岡	4
							その他の食料工業品		7
	日 用 品	2	2	19	6		製造食品	北陸信越	7
そ の 他	4	4	18	2		宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2, 8	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	14	2				
	金属製品			17	9	1	その他の金属製品	東京、神奈川、大阪、福岡	4, 7, 9
	機 械	2	1	16	8		その他の機械、機械部品	東北、東京、愛知、大阪、福岡	4, 7
	化学工業品		1	16	12	1	合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、大阪、中国	4, 7
	繊維工業品		2	21	6				
	食料工業品		2	17	7	1	その他の食料工業品、加工食品	大阪、近畿、中国	4, 7
	日 用 品		2	15	11		書籍・印刷物、衣服、その他の日用品	東北、関東地方、北陸信越、大阪、兵庫、九州	4, 5, 9
	そ の 他		3	16	9		宅配便		
						百貨店配送品	大阪	2	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 814 社 / 調査対象事業者数 1,067 社）の輸送量は、前月比 101.0%、前年同月比 101.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北陸信越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前 月 比	101.0%	98.6%	101.9%	100.3%	101.4%	98.8%	102.5%	99.5%	105.4%	105.6%	104.8%
前年同月比	101.4%	112.3%	98.2%	96.7%	108.8%	99.4%	91.2%	98.7%	97.0%	96.8%	105.4%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 98.6%、対前年同月比 112.3%であった。品目別には、季節的需要増により「食料工業品」、「日用品」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「動植物性飼・肥料」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「その他の農産品」の輸送量の減少が顕著であったほか、建設関係の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 101.9%、対前年同月比 98.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「揮発油」、「食料工業品」、「日用品」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「石炭」の輸送量にも増加がみられた。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」、「機械」の輸送量が減少したほか、建設関係の需要減等により「鉄鋼」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 100.3%、対前年同月比は 96.7%であった。品目別には、季節的需要増により「野菜・果物」、「日用品」の輸送量が増加した。一方、倉庫への出入庫減等により「化学肥料」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 101.4%、対前年同月比は 108.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の石油製品」、「食料工業品」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「野菜・果物」、「金属製品」の輸送量にも増加がみられた。一方、建設関連の需要減等により「木材」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「非鉄金属」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 98.8%、対前年同月比は 99.4%であった。品目別には、商社・問屋からの貨物増により「食料工業品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「日用品」の輸送量にも増加がみられた。一方、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したほか、季節的需要減により「その他の農産品」の輸送量が、工場・生産地からの貨物減により「紙・パルプ」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 102.5%、対前年同月比は 91.2%であった。品目別には、年末の季節的需要増等により「食料工業品」の輸送量が顕著であったほか、工場・生産地からの貨物増等により「金属製品」の輸送量にも増加がみられた。一方、「木材」、「日用品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 99.5%、対前年同月比は 98.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「畜産品」、「水産品」、「食料工業品」といった食料品関係の輸送量の増加が顕著であった。一方、「鉄鋼」の輸送量に大きな減少がみられたほか、建設関連の需要減等により「セメント」、「その他の製造工業品」の輸送量が、工場・生産地からの貨物減等により「木材」、「化学薬品」、「紙・パルプ」の輸送量が減少する等、多くの品目で輸送量の減少がみられた。今後の輸送見通しは、年始の稼働日の減少等により次月は減少傾向、以降についても同様に減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 105.4%、対前年同月比は 97.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」等の輸送量が増加した。一方、公共工事の減少により「鉄鋼」、「セメント」等の建築資材の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 105.6%、対前年同月比は 96.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「畜産品」、「その他の石油製品」、「食料工業品」、「日用品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「その他の窯業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 104.8%、対前年同月比は 105.4%であった。品目別には、「その他の農産品（花卉）」、「金属製品（H鋼・天板）」、「金属くず（鉄くず）」等の輸送量が季節的又は一時的と思われる需要増により増加したほか、「穀物」、「紙・パルプ」の輸送量にも若干の増加がみられた。一方、「食料工業品（冷凍食品）」の輸送量が若干の減少となった。今後の輸送見通しは、次月は減少傾向、以降は微増傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増		1		1			1		1	1	5
	減											
2. 野菜・果物	増	1	1	1	3			2	2	6		16
	減	2	1		1			1	4			9
3. その他の農産品	増	1	1					1	2	1		6
	減	9				1						10
4. 畜産品	増	1						2		3		6
	減		1									1
5. 水産品	増	1			1		1	2	1	1		7
	減	1	1									2
6. 木材	増	3			1			1				5
	減	3	2		2		1	2		1		11
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	2	2							1		5
	減											
9. 金属鉱物	増									1		1
	減	1	1									2
10. 砂利・砂・石材	増	5					1	1				7
	減	7	3		1		1	2				14
11. 工業用非金属鉱物	増		2									2
	減		1		1							2
12. 鉄鋼	増	1			2		1	2		1		7
	減		2	1	1		1	5	1	2		13
13. 非鉄金属	増											
	減		1	1	2							4
14. 金属製品	増				2		3	3			1	9
	減	1	1		1		1					4
15. 機械	増	2			2		2	3		2		11
	減	1	2		2	1	1	3		1		11
16. セメント	増		1		2			1		3		7
	減	4	2		1			3	1	1		12
17. その他の窯業品	増									1		1
	減		1							3		4

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増	2	2		1				1	
19. その他の石油製品	増	2	1		3		1	1	1	7		16
	減	1		1				1				3
20. コークス・ その他の石炭製品	増				1			1				2
	減											
21. 化学薬品	増									1		1
	減							2				2
22. 化学肥料	増				1							1
	減			2								2
23. その他の化学工業品	増				1		1			1		3
	減		2					1		1		4
24. 紙・パルプ	増		3				1		1	1	1	7
	減	1	2	3		1	1	2		1		11
25. 繊維工業品	増						1			1		2
	減				1	1						2
26. 食料工業品	増	5	6		3	1	5	3	3	4		30
	減		3	1		1	2	1		1	1	10
27. 日用品	増	3	2	1		2				2		10
	減						1	1				2
28. その他の製造工業品	増			2		1	1			2		6
	減		1	3		2	1	3		1		11
29. 金属くず	増	1					1				1	3
	減											
30. その他のくずもの	増							1				1
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	5						2		1		8
	減			1						2		3
32. 廃棄物	増	3								3		6
	減							2	1	1		4
33. 輸送用容器	増	1			1					2		4
	減									1		1
34. 取り合せ品	増		3	1			2	2		3	2	13
	減	1	1			1		2		2		7
35. その他	増			5	3		1		2	3	1	15
	減			1	2		2	1		5	1	12